

形名

ESC-B-S25B-LB

ポータブル蓄電システム

蓄電容量：2.5kWh（屋内設置モデル）

取扱説明書

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はお使いになる方がいつでも見られるところに保管して、必要なときにお役立てください。

もくじ

安全上のご注意	2
免責事項について	5
日常のお手入れ時のご注意	6
ご使用前に	7
使用上のお願い	7
使用にあたっての確認	7
出力電力と充電に関して	8
概要／機能	10
主な特長	10
ピークシフトについて	10
点検停止について	10
各部の名前とはたらき	11
設置について	12
設置場所	12
機器の固定	13
運転開始までの流れ	14
お買上げ時の初期設定について	15
言語設定	15
日時設定	15
周波数設定	16
常時蓄電池残量設定	16
急速充電設定	16
ポータブル蓄電システムの運転・開始	17
運転開始	17
出力を停止する場合	17
運転停止	18

操作方法

メニュー表示	20
メニュー画面一覧	20
システムの状態表示（「メニュー 1 ジョウタイ」画面）	21
タイマー設定状態表示（「ジョウタイ タイマー」画面）	21
バッテリー状態表示（「ジョウタイ バッテリー」画面）	21
ネットワーク状態表示（「ジョウタイ ネットワーク」画面）	21
バージョン表示（「ジョウタイ バージョン」画面）	21
機器設定（「メニュー 2 セッテイ 1」画面）	22
日付・時刻設定	22
表示言語設定	22
ネットワーク設定	23
操作設定	24
運転設定（「メニュー 3 セッテイ 2」画面）	25
周波数設定	25
タイマー設定	26
常時蓄電池残量設定	27
急速充電設定	27
停電時以外の画面の説明	28

その他

故障かな？と思ったら	30
エラーコードの種類と対応	31
警報メッセージの種類と対応	33
よくあるご質問	34
蓄電池の寿命	35
製品の廃棄について	35
補助金申請について	35
保証とアフターサービス	35
仕様	36

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、ここに示した注意事項は危害・損害の程度によって以下のような表示と記号で区分されています。いずれも安全に関する重大な内容ですので必ずお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがあります。



注意

人がけがをしたり物的損害を受けたりする場合があります。

※物的損害とは、例えば家屋、家財および飼育動物に与える損害のことを意味します。

本文中に使用される“図記号”の意味は以下の通りです。

	絶対に行わないでください。		アース線を接続してください
	必ず行う内容です。		濡れ手で取り扱わないでください
	注意していただく内容です。		水等で濡らさないでください
			製品を分解しないでください

警告

【運搬・設置時】

	室内設置モデルであり、屋外には設置しない 火災、感電、漏電、故障の原因となります。
	一人で本機を持ち上げない 腰痛や本機の落下によるけが、本機の故障の恐れがあります。
	本機を逆さまや横倒しで運搬・設置しない けがや故障の原因となります。
	毛足の長いじゅうたんや座布団の上など不安定な場所に置かない 本機が転倒した場合、けがや重大な事故につながります。
	本機のコード・プラグが破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具を近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など） 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 コードやプラグの修理は、当社コールセンターにご相談ください。
	設置は製品の質量に耐えられるところに確実にを行う けが、故障の原因となります。 質量は仕様（P.36 参照）を確認してください。
	本機がキャスターのロック（4 か所）で確実に固定されていることを確認する けがの原因となります。
	定格 15A 以上・AC100V のコンセントを単独で使う 他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。
	AC 入力プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って抜く 感電、ショート、発火の原因となります。
	AC 入力プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは感電や火災の原因となります。

⚠ 警告

	<p>内蔵の蓄電池に電気が蓄えられており、感電しないよう取り扱いには十分注意する 通常の電気製品と異なり AC 入力プラグをコンセントから抜いても蓄電池からの放電により感電するおそれがあります。</p>
	<p>AC 入力コードが壁と本機の間には挟まれないよう取り扱いには十分に注意する コードを傷つけ感電や発火のおそれがあります。</p>
 アース線接続	<p>接地極付コンセントを使用する 故障や漏電のときに、感電する原因となります。 コンセントの交換やアース工事は、販売店にご相談ください。</p>
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で、AC 入力プラグの抜き差しはしない 感電の原因となります。</p>

【使用時】

 禁止	<p>取扱説明書の指示・仕様から外れた不適切な使用を行わない 感電や発煙、発火、故障の原因となります。</p>
	<p>出力コンセントの中に金属、紙、水などの異物を入れない 感電や発煙、発熱、火災の原因となります。</p>
	<p>人の安全や社会機能に影響を与える制御機器などには使用しない 誤動作による事故の原因となります。</p>
	<p>ペースメーカーなどを使用している人は本機に触れたり、手の届く範囲に近づかない ペースメーカーに影響を与える原因となります。</p>
	<p>AC 入力プラグを、絶対に出力コンセントに差し込まない 蓄電池の劣化や故障の原因となります。</p>
	<p>定格容量の低い延長コード、テーブルタップなどを出力コンセントにつながない 1500W 対応ではないものを使用した場合、発熱・火災の原因となります。</p>
	<p>医療機器には使用しない 誤動作による事故の原因となります。</p>
	<p>すき間や背面排気ファン部の中に手を入れたり、異物を差し込んだりしない けが、感電、故障の原因となります。 特にお子様にはご注意ください。</p>
	<p>強い衝撃をあたえない けが・感電・故障の原因となります。 特にお子様にはご注意ください。</p>
	<p>内蔵蓄電池の電解液が漏れたときは素手で液を触らない 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。</p>
	<p>火の中に入れたり、加熱をしない 発熱・火災・故障・寿命低下の原因となります。</p>
	<p>本機の上に花瓶、植木鉢、水槽などの水を入れた容器を置かない 感電・故障の原因となります。</p>
	<p>本機の上に乗ったり座ったりしない けが・故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。</p>
	<p>ガソリンやベンジンなどの引火性溶剤を近くに置かない 火災の原因となります。</p>

安全上のご注意（つづき）

警告

 禁止	工事など衝撃が加わりそうな場所に本機を置かない 火災・感電・漏電の原因となります。 リフォーム、改築、転居の際は、本機の動作を停止し背面にあるブレーカーを OFF して安全な場所へ移動・配置してください。
 禁止	内蔵蓄電池を開封・切断しない 漏れた電解液が、肌及び眼を傷つけるおそれがあります。 また、電解液は毒性を持っている場合もあります。
	一度でも転倒させたときは、使用を中止し、当社コールセンターへ電話する。 フリーダイヤル  0120-885-394 営業時間：9:00～18:00 携帯電話・PHS からもご利用になれます。 日、祝日、年末年始を除く。 使用を継続すると感電・発熱・火災のおそれがあります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で本機や操作部、コード類をさわらない 感電・故障の原因となります。
 水ぬれ禁止	水やペットの糞尿、その他の液体をかけたり、ぬらしたりしない 感電・故障の原因となります。

【日常のお手入れ時】

	AC 入力プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。 AC 入力プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
 分解禁止	カバーを外したり、修理、分解、改造、取り外しはしない 感電・火災・やけど・けが・故障の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	<p>直射日光にあてたり、近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない 火災・故障・寿命低下の原因となります。</p>
	<p>本機の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない 引火し、やけどや火災の原因となります。</p>
	<p>一般ごみとして廃棄しない ゴミ収集車内や集積場、火中での発煙・発火・爆発の原因となります。製品の廃棄に関しては、当社コールセンターにお問い合わせください。 フリーダイヤル ☎ 0120-885-394 営業時間：9:00～18:00 携帯電話・PHSからもご利用になれます。 日、祝日、年末年始を除く。</p>
	<p>吸気口及び排気口のすぐ近くに物を置いたり、ふさいだりしない 内部の温度が上昇し、火災・故障・寿命低下の原因となります。</p>
	<p>使用中は移動させない 発熱・発火・火災の原因となります。</p>
	<p>周囲温度が高い状態で使用しない 発熱・発火・火災の原因となります。</p>
	<p>本機を日本以外の国で使用しない 国外で使用すると、電圧・使用環境が異なるため、発煙・発火・火災の原因となります。</p>
 注意	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かない 火災・感電の原因になることがあります。</p>
	<p>フィルターを定期的に清掃する フィルターの目詰まりにより、発熱・故障の原因となります。</p>
	<p>本機の誤作動または不具合による使用 機器の機能停止や損傷、データ消失、周辺機器への影響などが発生しても、一切の責任は負えません。</p>
 注意	<p>電波利用機器に近づけない ラジオ・テレビなど電波を利用する機器に近すぎる設置は受信障害の原因となる可能性があります。 3m以上離して設置してください。</p>

免責事項について

- お客様もしくは第三者が本機の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の使用に際して接続した機器の故障などの補償や、本機の故障によって生じた本機以外の直接・間接の損害について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の不具合など何らかの原因で、外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合や外部メディア・記録機器などに既に記録されていた記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

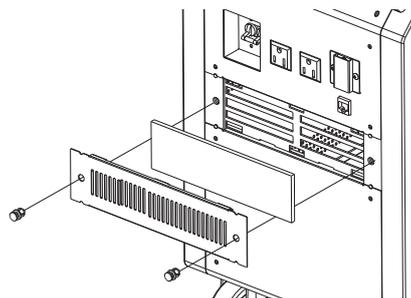
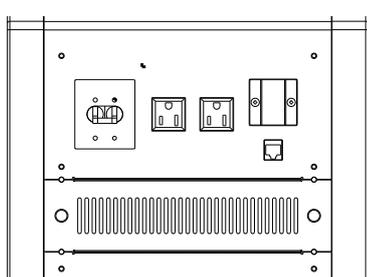
日常のお手入れ時のご注意

- 本機の表面が汚れた時は、乾いた布などで拭いてください。
- 入力および出力コードは、乾いた布などで拭いてください。
- フィルターは下記のように月に1回程度を目安として清掃してください。

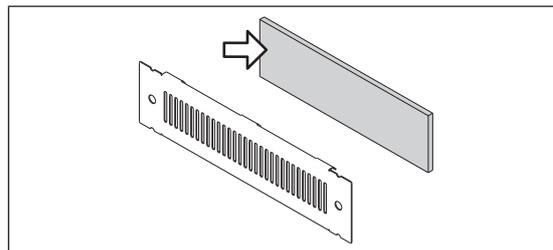
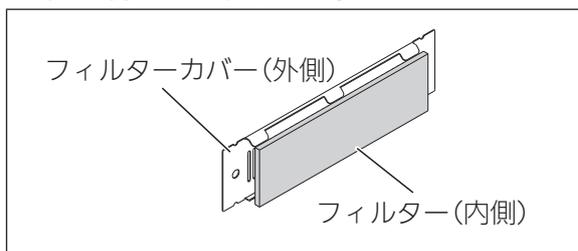
※清掃時はベンジン、シンナーや油系の洗剤を使用しないでください。また、水をかけないでください。

■フィルターの清掃について

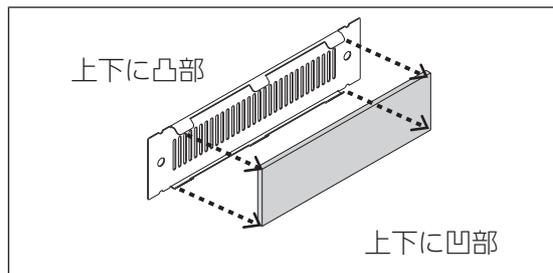
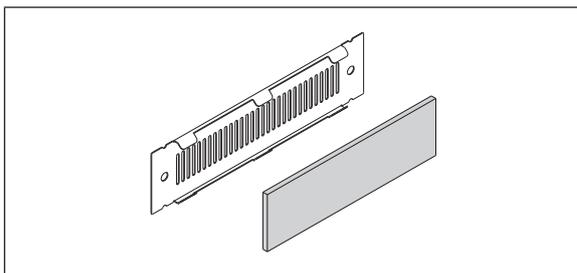
- ① フィルターカバーの左右2箇所のリベットを手前に引いて外します。



- ② フィルターのフィルターカバーに面した側（下右図の矢印）のほこりを掃除機で除いてください。



- ③ フィルターカバーとフィルターの上下を確認し、上下の凹凸が合うように取り付けます。（下図）



- ④ 全体を押し込み、本体に戻し左右2箇所のリベットをとめます。

※「フィルター」は消耗部品です。必要に応じてご用命ください。

ご使用前に

使用上のお願い

- はじめてご使用になる時は、必ず充電してからご使用ください。
蓄電池が放電して動作しない、もしくは出力時間が短い、タイマーが正常に動作しないことがあります。満充電までの充電時間は、約6時間です。📖 8ページ
- AC入力プラグは常に電源コンセントに接続し、通電しておいてください。
- 過負荷や蓄電池の残量がわずかになった場合や点検停止の前に表示でお知らせします。
表示に注意し、過負荷や蓄電池残量、蓄電池の利用期限に気を付けてご使用ください。
- 蓄電池の保守・点検について
取り扱いには蓄電池及びその注意事項についての知識が必要であり、一般のお客様は取り扱えません。必ず当社コールセンターにご相談ください。

使用にあたっての確認

■ 同梱物

同梱物を確認し、本体の外観にキズ、へこみ等の異常がない事をご確認ください。

- 本体
- 取扱説明書（本書）
- AC入力コード

※必ず同梱のものを使用してください

■ 環境温度

- 本機は、室温0℃～40℃、湿度20%～85%（ただし結露なきこと）の室内環境に設置してください。
- 直射日光の当たる場所など、上記温度範囲外に本機を長時間放置した場合、筐体内部の温度が上記温度範囲内に戻るまで、半日程度を要する場合があります。その間は、ご使用になることができません。特に季節によっては、梱包状態であっても筐体内部が高温または低温となっている場合がありますのでご注意ください。

※本機は環境温度が0℃未満または40℃より高い場合、充電・放電ができません。

■ アース（接地）

本機は確実にアース接続できるように接地（アース）極付プラグ仕様としています。（同梱）感電防止のため、必ずアースを確実に取り付けてください。

- 必ず接地極付コンセント（AC100V・15A以上）を単独でご使用ください。
- 設置場所の変更や移設の際にも、必ず接地極付コンセントをご使用ください。
- 接地極付コンセントがないときは電気設備技術基準等に基づき、必ず電気工事士による接地極付コンセントの施設とD種接地工事を行ってください。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。（法令で禁止されています）
- アースについてご不明な点は、当社コールセンターにご相談ください。

ご使用の前に（つづき）

■接続使用できる機器の例

使用可能なもの	<ul style="list-style-type: none">・液晶テレビ、プラズマテレビ、エアコン・電子レンジ、電気ポット、電磁調理器、炊飯器、ホットプレート、冷蔵庫・洗濯機、掃除機、扇風機、ヘアードライヤー、ラジオカセット・ノートパソコン^{※1}、携帯電話充電器、FAX 付電話、モデム、ルーター・複合機、プリンター、プロジェクター、液晶モニター、スピーカー・卓上蛍光灯（非常用を除く）など
使用に注意が必要なもの	<ul style="list-style-type: none">・コンピューターやサーバーなどのデータ保存機器（ノートパソコンは除く）・ブルーレイ/DVDレコーダーなどのデータ保存機器、テレビ用 USB-HDDレコーダー
使用いただける容量 合計1100VA以内 ^{※2} （機器により消費電力の制限から使用できないものがあります。また、機器の立ち上がり時に瞬間的に大きな消費電力が必要になるものがあります） ^{※3}	
使用できないもの	<ul style="list-style-type: none">・医療機器・突入電流が15A以上の機器（高圧洗浄機など）

※1 ノートパソコンはバッテリーを装着してご使用ください。
また、データの保存、バックアップは、お客様自身で責任を持って行ってください。

※2 前面の出力コンセントに接続する機器の容量が1100VA以内です。1000VA以上使用の場合、バッテリーには充電されません。

※3 使用中の電気製品の特性により、出力コンセントに定格（1100VA）を超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、出力コンセントへの給電を停止します。もし、安全装置が作動してしまった場合は、接続している電気製品の数を減らし、POWERボタンを押してください。

出力電力と充電に関して

出力コンセントに接続する機器の容量と充電容量は下記目安となります。^{※1}

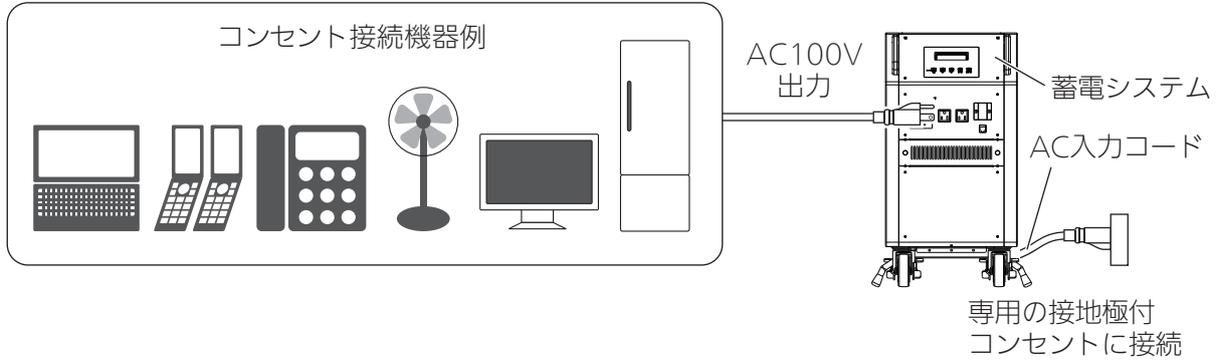
出力容量	充電容量・時間
1000VA～1100VA	充電しません
900VA～1000VA	満充電まで25時間
700VA～900VA	満充電まで13時間
500VA～700VA	満充電まで6時間
0VA～500VA	急速充電が使用可能です ^{※2}

※1 環境温度により充電できない場合があります。

※2 急速充電設定  16ページ

【接続例】

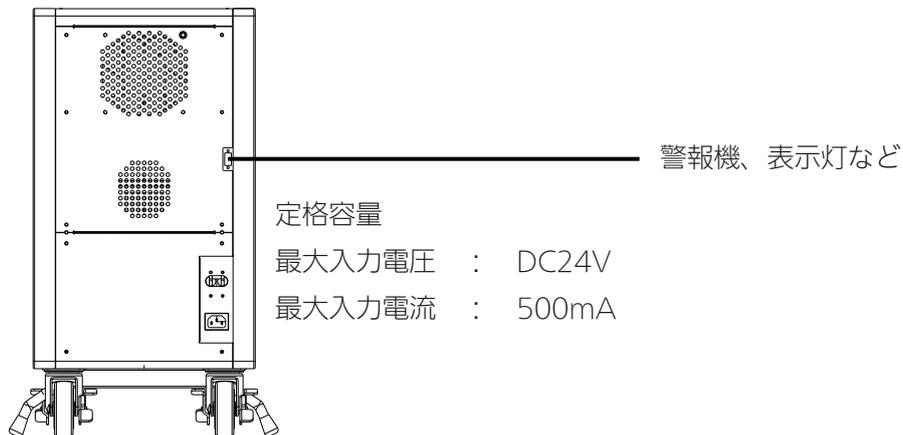
本機が満充電された状態で合計1000VAの機器を接続時、約2時間使用可能です。
(蓄電池: 初期状態25℃の場合)



- ご使用になりたい機器をAC出力コンセントにつないでください。
- 使用可能時間は、お使いの機器の消費電力やご使用条件により異なります。
- 蓄電池には寿命があり、使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて蓄電池容量は徐々に低下するため、使用可能時間は徐々に短くなります。

【背面接続例】

本機が停止などのエラー時に端子間が短絡します。
接続機器は定格容量を守ってご使用ください。



概要／機能

停電や自然災害はいつ起きるかわかりません。店舗・公共施設・オフィスをはじめ住宅にも非常時用電源の備えがあれば安心です。

ポータブル蓄電システムは、ふだんは蓄電池に電気を蓄えておき、停電の際には接続している特定機器（通信機器など）に蓄電池から自動的に電力を供給します。

- ・通常動作時は、商用電源より電力を供給され商用電源と同期した正弦波の電圧を出力します。
「運転開始」☞ 17 ページ 参照
- ・商用電源が停電し電力供給を受けられない場合は、本機に内蔵した蓄電池より電力を出力へ供給します。
- ・蓄電池の残量がユーザーが設定した残量、もしくは規定の残量に達した場合は、商用電源より自動的に充電を開始します。
（急速充電設定が ON の場合、既定の残量まで通常の約 1/2 倍の時間で充電します）
「急速充電設定」☞ 16、27 ページ 参照
- ・タイマー機能を有しており、ユーザーが設定した時間に出力の供給を商用電源から蓄電池へ切り替えたり、蓄電池から商用電源へ切り替えたりすることができます。
- ・本機は蓄電池への充電開始時間の設定もできる機能を有します。

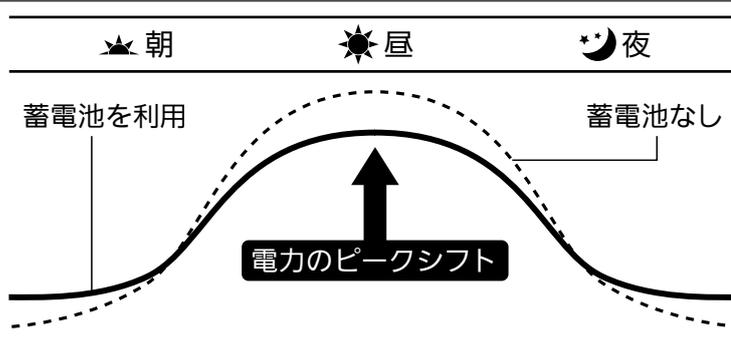
主な特長

- ・**高容量のリチウムイオン蓄電池を採用**
電気自動車等に使用されている高容量・高耐久のサイズ（直径 18mm × 高さ 65mm）の円筒型リチウムイオン蓄電池（セル）を採用しました。
- ・**出力コンセント（2口）**
本機前面に 2 口の出力コンセントがあります。冷蔵庫や携帯電話の充電器・ノートパソコンなどの通信機器などを接続して使用できます。
- ・**タイマー制御**
電力需要の平準化に役立つピークシフト機能（下段の説明を参照）を有しています。
- ・**ネットワーク接続**
イーサネット接続により本機の動作状態を監視することができます。

ピークシフトについて

電力需要の平準化のために、電力需要が最大となる時間帯の電力の一部を電力需要の少ない時間帯に移行させることを「電力のピークシフト」と呼び、電力不足への対策方法のひとつとして注目されています。

本機は、電力需要の少ない時間帯に充電した蓄電池から、接続した特定機器に電力を供給し、電力需要の多い時間帯に系統電力からの供給を止めるようにタイマーを設定することで、電力需要の平準化を行えます。



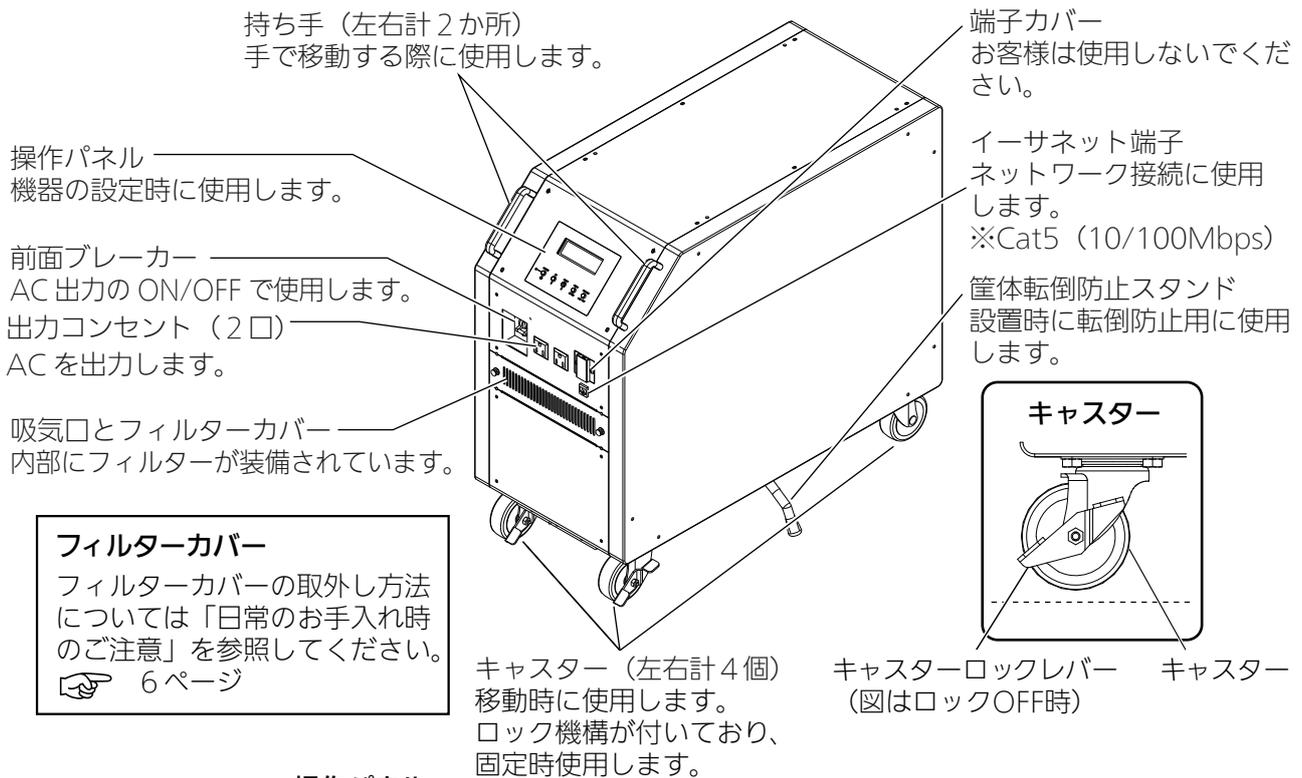
（上図はピークシフトのイメージをわかりやすくお伝えするためのもので、実際の充放電の状態とは異なります）

点検停止について

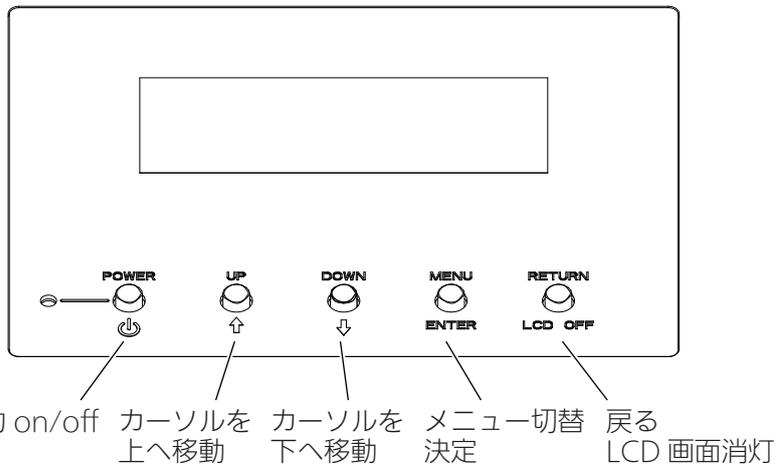
電気製品は、古くなると部品の劣化や摩耗により発火・怪我などの事故に至る恐れがあります。著しく劣化した蓄電池の利用を控えていただくために、「10年経過した場合」と「満充電しても出力可能時間が著しく短く（初期の約 6 割以下）なった場合」、本機は点検停止機能が働き、以後、動作停止します。点検停止日が近付いた際には、本機のモニター画面に警告画面が表示されますので、当社コールセンターにお問合せください。

各部の名前とはたらき

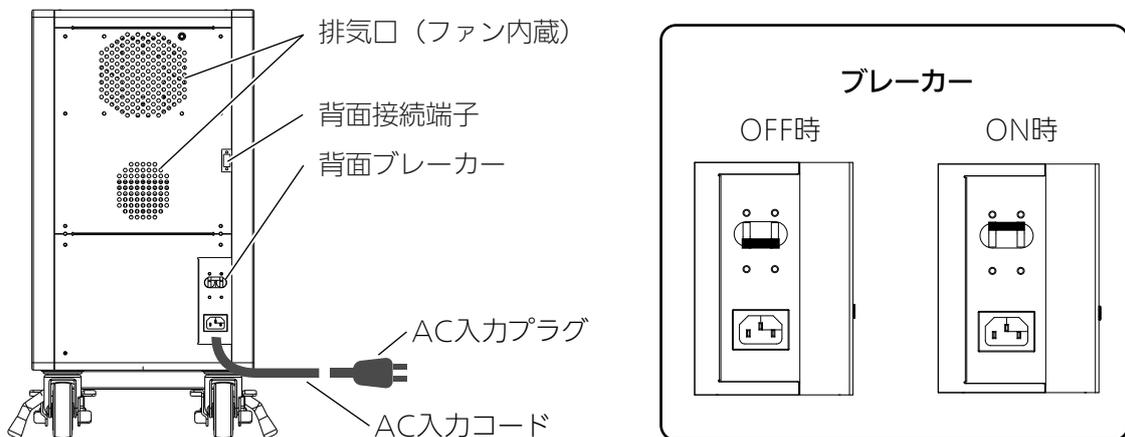
<前面>



操作パネル



<背面>



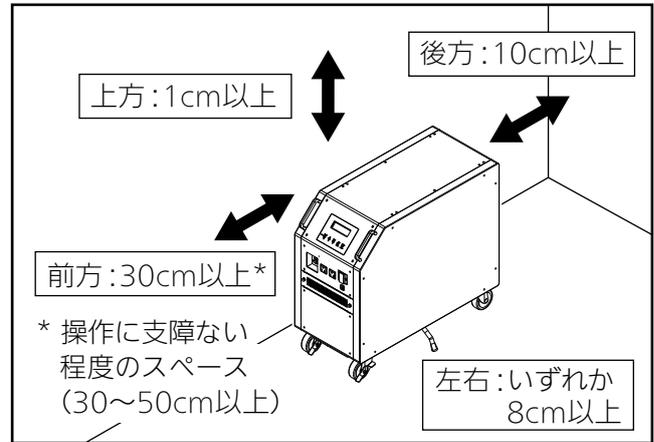
AC入力プラグを前面の出力コンセントに接続しないでください。蓄電池の劣化や故障の原因になります。

設置について

設置場所

本機を設置する前に、設置場所が以下の条件を満たしていることを確認してください。条件を満たしていない場所に設置すると、不具合が生じる原因になります。

- 床面は本機の質量（70kg）に耐えること。
- 床面が水平であること。
- 仕様の使用環境を満たしていること。
- AC100V、15A以上の接地極付コンセントが単独で使用可能であること。
- 振動・衝撃が加わらないこと。
- 直射日光が当たらないこと。
- 近くに熱・火花の発生源がないこと。
- フィルターカバーや排気口を塞ぐような障害物がないこと。
- 通気スペースが確保され（右図）、壁や天井などが通気の妨げとなっていないこと。
- 左右のいずれか1面に通気の為のスペース（8cm以上）があること。
- 閉ざされた空間ではないこと。
- 前方にボタン操作に支障のないスペース（30～50cm以上）があること。



※設置時には、前方に十分な作業スペースを確保するとともに、ボタンの操作を妨げる障害物は置かないでください。

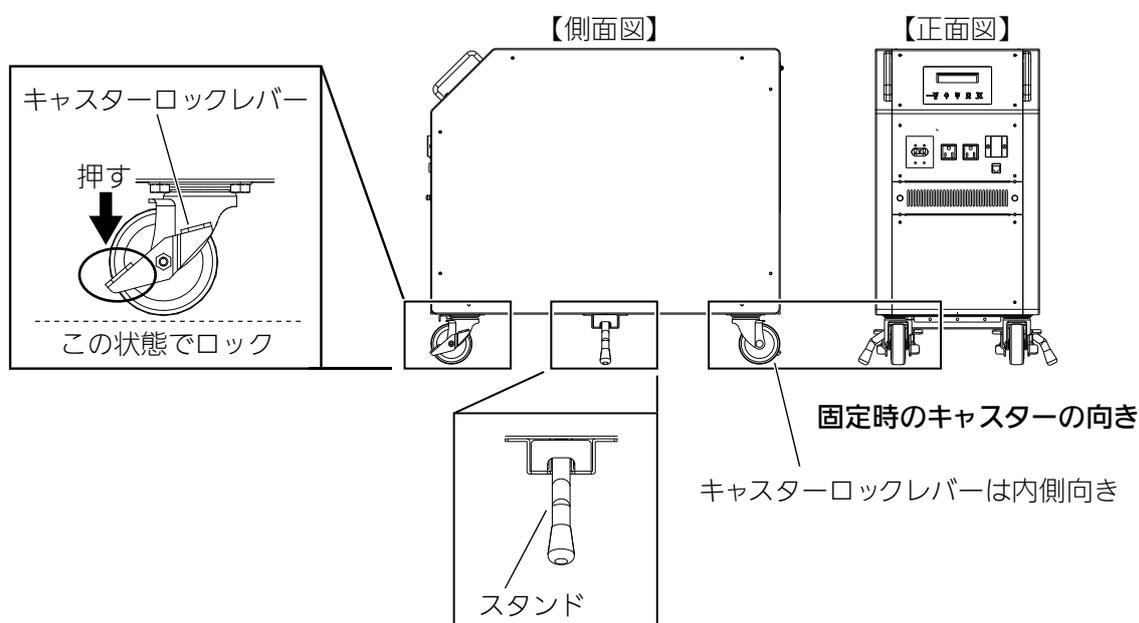
※本機を移動させる場合は、機器を運転停止して実施してください。
（手順は「運転停止」を参照してください  18 ページ）

機器の固定

- 木質床など傷つきやすい床に搬入・設置する際には、床に保護用の板などを敷いてください。
- 本機を移動するときは、キャスターロックを外し、スタンドを上げてから行ってください。キャスターロックを外さずに無理に移動させると、キャスターロックレバーが破損したり、床が傷つく原因となります。
- スタンドを上げずに無理に移動させると、スタンドが破損したり、床が傷つく原因となります。

【固定する場合】

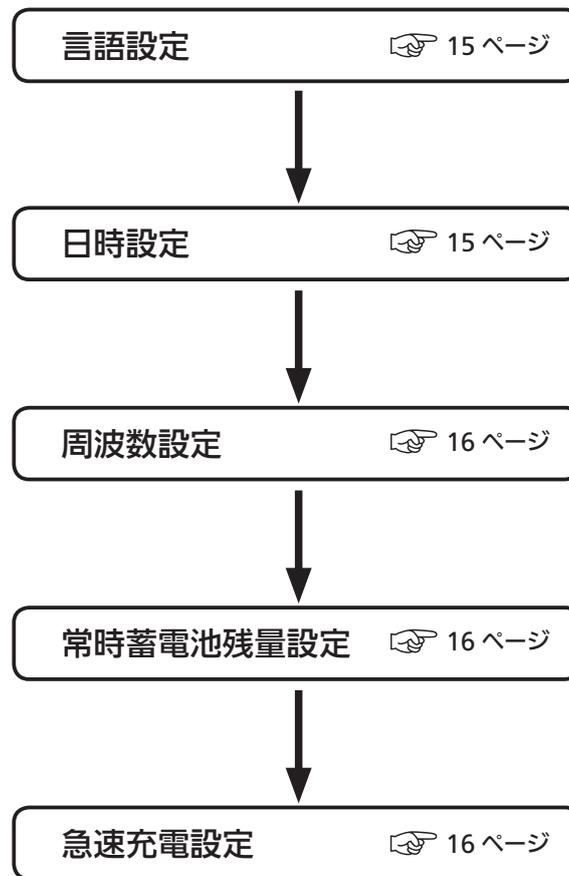
- ① キャスターが本体の前後方向と平行になるように4か所のキャスターの位置を調整します。(下図)
- ② キャスターロックレバーを押してキャスターをロックします。(4か所)
- ③ 転倒防止スタンドを手前に引いておろします。



【移動する場合】

- ① キャスターロックレバーを上げてキャスターのロックを外します。
- ② スタンドをレールにあわせて本機下に収納します。

運転開始までの流れ



お買上げ時の初期設定について

1 AC 入力プラグを 100V コンセントに接続する

2 ブレーカーを「ON」にする

本機背面にあるブレーカー（「各部の名前とはたらき」の背面図参照  11 ページ）を上にあげると電源が「ON」になり起動中の画面が表示されます。その後言語設定のメニューが表示されますので、以下の手順で進めてください。

画面は電力の消費を抑えるため、1 分間触らなければ自動で暗くなります。暗くなった画面は、再度操作パネルにあるボタンのいずれかを押し、元の明るさに戻ります。

起動中の画面

キトウ ショリチュウ

3 初期設定を行う

言語設定

- ① 言語設定画面が表示されます。
- ②  (↑)、 (↓) で「JAPANESE」「ENGLISH」を選択し、 (ENTER) で決定します。設定すると日時設定へ移行します。

[セッテイ1 ケンゴ]
> JAPANESE
ENGLISH

工場出荷時：JAPANESE

日時設定

- ① 日時設定画面が表示されます。
- ②  (↑)、 (↓) で数字を選択し、 (ENTER) で決定（送り）します。設定すると周波数設定へ移行します。

- 選択中は「_」（アンダーバー）で表示されます。
- 本機に表示されている日付・時刻は目安です。
- 日付・時刻がずれたときは再設定してください。
- 背面ブレーカーをOFFすると、日時設定はリセットされます。（再設定が必要です）

[セッテイ1 ヒツ ケ・ジ コク]
2000/01/01
00:00

工場出荷時：
2000/01/01
00:00

お買上げ時の初期設定について（つづき）

周波数設定

日本の電源周波数は、およそ、富士川（静岡県）と糸魚川（新潟県）を境に東側は50Hz、西側が60Hzとなっています。

ただし、境界付近には「50Hz」と「60Hz」の混在地区もございますので、ご注意ください。
また、引っ越し先が、東西の境界近くなどでその地域の周波数が不明な場合は、引っ越し先の電力会社へご確認ください。（設定を変更する場合は「周波数設定」参照）

① 周波数設定画面が表示されます。

②  (↑)、 (↓) で「50Hz」「60Hz」を選択し、
 (ENTER) で決定します。
設定すると常時蓄電池残量設定へ移行します。

[セッテイ2 シュウハスウ]
> 50Hz
60Hz

工場出荷時：50Hz

常時蓄電池残量設定

常時蓄電池残量とは停電時のために蓄電池内に最低確保しておく残量のことです。2.5kWhの電力量を備蓄容量100%として表記しています。停電時以外は備蓄容量が放電の下限となりますが、停電時には備蓄容量も使って電力を供給します。（数値を変更する場合は「常時蓄電池残量設定」参照）

① 蓄電池（バッテリー）残量設定画面が表示されます。

②  (↑)、 (↓) で数字を選択し、
 (ENTER) で決定します。
設定すると急速充電設定へ移行します。
• 残量は30%～80%（10%きざみ）で設定します。

[セッテイ2 バ ッテリー]
ザ ンリョウ 50%

工場出荷時：50%

急速充電設定

① 急速充電設定画面が表示されます。

②  (↑)、 (↓) で「OFF」「ON」を選択し、
 (ENTER) で決定します。
設定すると初期設定を終了し、通常画面へ移行します。

• 急速充電をONにすると常時蓄電池残量まで約1/2の充電時間になります。

[セッテイ2 キュウソクジ ユウデ ン]
OFF
> ON

工場出荷時：ON

ポータブル蓄電システムの運転・開始

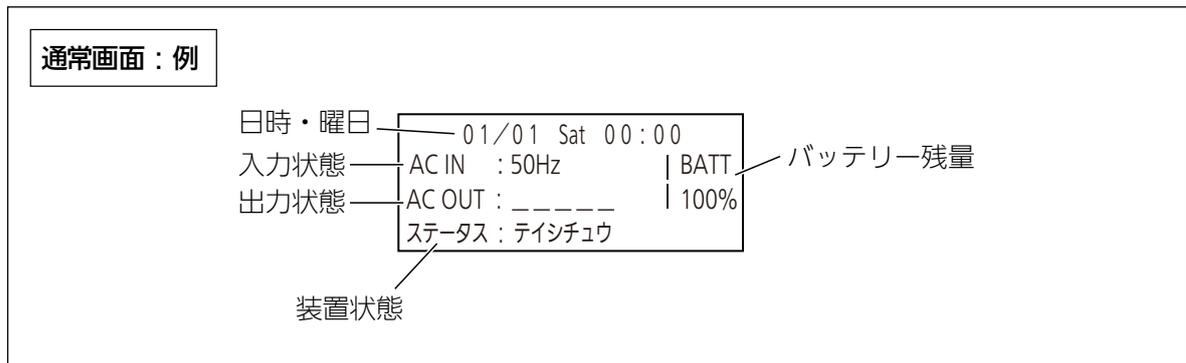
運転開始

1 AC 入力プラグを 100V コンセントに接続する

2 ブレーカーを ON にする

本機背面にあるブレーカー（「各部の名前とはたらき」の背面図参照  11 ページ）を上にあげます。

通常画面が表示されます。



充電について

- ・AC入力プラグからACが供給されていると、蓄電池残量により自動的に充電動作に入ります。
- ・急速充電設定がONの場合で、かつ既定より蓄電池残量が少ない場合、自動的に急速充電モードになります。
- ・蓄電池残量の設定は「常時蓄電池残量設定」を参照してください。  27ページ
- ・急速充電モードの設定は「急速充電設定」を参照してください。  27ページ

3 出力を開始する

- ① 前面ブレーカーを上にあげます。

 (P) を押し、「シュツリョク ON？」と表示されます。

- ②  (P) で出力を開始します。

シュツリョク ON?
ハイ： POWER
イエ： RETURN

放電について

- ・停電時は自動的に蓄電池からの放電に切り替わります。
- ・本機は停電時に途切れることなく（無瞬断）ACを出力します。

出力を停止する場合

1 を押す

- ① 「シュツリョク OFF？」と表示されます。

- ②  (P) で出力を停止します。

シュツリョク OFF?
ハイ： POWER
イエ： RETURN

運転停止

1 接続機器の電源を「OFF」にする

- 使用中（放電中）の接続機器があれば、接続機器の電源をOFFにしてください。

2 出力を停止する

- ①  (POWER) を押します。
「シュツリョク OFF？」と表示されます。
- ②  (POWER) で出力を停止します。
- ③ 前面ブレーカーを下に下げます。

シュツリョク OFF? ハイ: POWER イイ: RETURN
--

3 ブレーカーを「OFF」にする

本機背面にあるブレーカーを下に下げます。

- ブレーカーの位置は、「各部の名前とはたらき」を参照してください。👉 11ページ

本機を移動させない場合、本機の AC 入力プラグは 100V コンセントに挿入しておいてください。

本来の目的以外に本機を長期間ご使用にならない場合、背面ブレーカーを OFF にしておいてください。

操作方法

メニュー表示	20
メニュー画面一覧	20
システムの状態表示（「メニュー 1 ジョウタイ」画面）	21
タイマー設定状態表示（「ジョウタイ タイマー」画面）	21
バッテリー状態表示（「ジョウタイ バッテリー」画面）	21
ネットワーク状態表示（「ジョウタイ ネットワーク」画面）	21
バージョン表示（「ジョウタイ バージョン」画面）	21
機器設定（「メニュー 2 セッテイ 1」画面）	22
日付・時刻設定	22
表示言語設定	22
ネットワーク設定	23
操作設定	24
運転設定（「メニュー 3 セッテイ 2」画面）	25
周波数設定	25
タイマー設定	26
常時蓄電池残量設定	27
急速充電設定	27
停電時以外の画面の説明	28

メニュー表示

1 初期画面で を押す

メニュー画面が表示されます。

- メニュー画面には、メニュー1、メニュー2、メニュー3があり、 (ENTER) を押すと、表示を切り換えることができます。
-  (↑) または  (↓) を押すとカーソルが表示され、メニューを次に進めることができます。
- 一つ前の画面に戻る場合は、 を押してください。

```
01/01 Sat 00:00
AC IN  : 50Hz      | BATT
AC OUT : _____ | 100%
ステータス : テイシチュウ
```



```
[メニュー 1 ジョウタイ]
> タイマー
   バッテリー
   ネットワーク
```

メニュー画面一覧

「メニュー 1 ジョウタイ」画面

本機の状態を確認することができます。

表示	参照
タイマー	 21ページ
バッテリー	 21ページ
ネットワーク	 21ページ
バージョン	 21ページ

```
[メニュー 1 ジョウタイ]
> タイマー
   バッテリー
   ネットワーク
```



```
[メニュー 1 ジョウタイ]
   バッテリー
   ネットワーク
> バージョン
```

「メニュー 2 セッテイ 1」画面

本機の時計、表示言語を設定することができます。

表示	参照
ヒツケ・ジコク	 22ページ
ゲンゴ	 22ページ
ネットワーク	 23ページ
ソウサ	 24ページ

```
[メニュー 2 セッテイ 1]
> ヒツケ・ジコク
   ゲンゴ
   ネットワーク
```



```
[メニュー 2 セッテイ 1]
   ゲンゴ
   ネットワーク
> ソウサ
```

「メニュー 3 セッテイ 2」画面

本機の運転に関する機能を設定することができます。

表示	参照
シュウハスウ	 25ページ
タイマー	 26ページ
バッテリー	 27ページ
キュウソクジュウデン	 27ページ

```
[メニュー 3 セッテイ 2]
> シュウハスウ
   タイマー
   バッテリー
```



```
[メニュー 3 セッテイ 2]
   タイマー
   バッテリー
> キュウソクジュウデン
```

2 目的の項目にカーソルを合わせ、 を押す

選んだ項目の画面が表示されます。

<例: 「タイマー」にカーソルを合わせて

 (ENTER) を押した場合 >

```
[ジョウタイ タイマー]

OFF
```

システムの状態表示（「メニュー 1 ジョウタイ」画面）

タイマー設定状態表示（「ジョウタイ タイマー」画面）

タイマーがオフに設定されている場合

```
[ジ ョウタイ タイマー]
OFF
```

タイマーがオンに設定されている場合は、 $\textcircled{\text{UP}}$ (↑) または $\textcircled{\text{DOWN}}$ (↓) を押すと、タイマー機能の設定状態が表示されます。

```
[ジ ョウタイ タイマー 1/2]
ジ ョウタイ
カシ : **ジ
シュウリョウ : **ジ
```

→

```
[ジ ョウタイ タイマー 2/2]
ホウタイ
カシ : **ジ
シュウリョウ : **ジ
```

バッテリー状態表示（「ジョウタイ バッテリー」画面）

```
[ジ ョウタイ バ ッテリー]
ザ ンリョウ : **%
カイスウ : *****
```

ネットワーク状態表示（「ジョウタイ ネットワーク」画面）

$\textcircled{\text{UP}}$ (↑) または $\textcircled{\text{DOWN}}$ (↓) を押すと、ネットワークの設定状態が表示されます。

```
[ジ ョウタイ ネットワーク 1/4]
IP アド レス
***. ***. ***. ***
```

→

```
[ジ ョウタイ ネットワーク 2/4]
サブ ネット マスク
***. ***. ***. ***
```

→

```
[ジ ョウタイ ネットワーク 3/4]
デ フォルト ゲ ートウェイ
***. ***. ***. ***
```

→

```
[ジ ョウタイ ネットワーク 4/4]
MAC アド レス
**:**:**:**:**:**
```

バージョン表示（「ジョウタイ バージョン」画面）

```
[ジ ョウタイ バ ージ ョン]
M バ ージ ョン : **.*.*
C バ ージ ョン : **.*.*
E バ ージ ョン : *****
```

機器設定（「メニュー 2 セッテイ 1」画面）

日付・時刻設定

本機の時計を設定します。時計を設定していないと、タイマー機能は使えません。本機に表示されている日付・時刻は、目安としてご利用ください。日付・時刻がずれたときには設定し直してください。

1 「メニュー 2 セッテイ 1」画面で $\overset{\text{UP}}{\circ}$ または $\overset{\text{DOWN}}{\circ}$ を押し、「ヒツケ・ジコク」にカーソルを合わせる

2 $\overset{\text{MENU}}{\circ}$ を押す

日付・時刻を設定する画面が表示されます。
• 年の2桁目にアンダーラインが表示されます。

[セッテイ1 ヒツケ・ジコク]
2000/01/01
00:00

3 $\overset{\text{UP}}{\circ}$ または $\overset{\text{DOWN}}{\circ}$ を押して「年」を設定し、 $\overset{\text{MENU}}{\circ}$ を押す

• 同じ要領で、月日と時を設定してください。

4 「分」を設定し、 $\overset{\text{MENU}}{\circ}$ を押す

日付・時刻を設定しメニュー画面に戻ります。

※ 背面ブレーカーを OFF にすると、日付時刻はリセットされます。

表示言語設定

本機のモニターに表示する言語を設定します。日本語または英語を選択することができます。

1 「メニュー 2 セッテイ 1」画面で $\overset{\text{UP}}{\circ}$ または $\overset{\text{DOWN}}{\circ}$ を押し、「ゲンゴ」にカーソルを合わせる

2 $\overset{\text{MENU}}{\circ}$ を押す

表示言語を設定する画面が表示されます。

[セッテイ1 ゲンゴ]
> JAPANESE
ENGLISH

3 $\overset{\text{UP}}{\circ}$ または $\overset{\text{DOWN}}{\circ}$ を押し、
目的の言語にカーソルを合わせ、 $\overset{\text{MENU}}{\circ}$ を押す

表示言語を設定し、メニュー画面に戻ります。

ネットワーク設定

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
イーサネット接続により本機の動作状態を監視することができます。

1 「メニュー 3 セッテイ 2」画面で  または  を押し、「ネットワーク」にカーソルを合わせる

2  を押す

ネットワーク機能を設定する画面が表示されます。

[セッテイ2 ネットワーク 1/4]
DHCP
> シュドウ

3  または  を押して、「DHCP」または「シュドウ」にカーソルを合わせる

「DHCP」 : IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動で設定します。
「シュドウ」 : IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。

4  を押す

「DHCP」を選んだ場合 : ネットワーク機能を設定し、メニュー画面に戻ります。
「シュドウ」を選んだ場合 : IP アドレスを設定する画面が表示されます。

[セッテイ2 ネットワーク 2/4]
IP アドレス
000.000.000.000

5  または  を押して、IP アドレスを設定する

6  を押す

サブネットマスクを設定する画面が表示されます。

[セッテイ2 ネットワーク 3/4]
サブ ネット マスク
000.000.000.000

7  または  を押して、サブネットマスクを設定する

8  を押す

デフォルトゲートウェイを設定する画面が表示されます。

[セッテイ2 ネットワーク 4/4]
デ フォルトゲ ートウェイ
000.000.000.000

9  または  を押して、デフォルトゲートウェイを設定し、 を押す

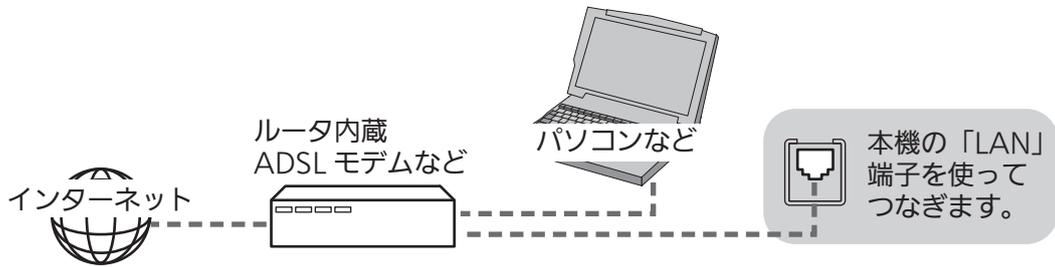
ネットワーク機能を設定し、メニュー画面に戻ります。

機器設定（「メニュー 2 セッテイ 1」画面）（つづき）

操作設定

パソコンなどを使いインターネットブラウザで本機 IP アドレスを指定すると、動作状態の確認と簡単な操作ができます。

（例）



1 「メニュー 2 セッテイ 1」画面で UP または DOWN を押し、「ソウサ」にカーソルを合わせる

2 MENU を押し
操作を設定する画面が表示されます。

```
[セッテイ1 ソウサ]  
> ホンタイ  
  リョウホウ
```

3 UP または DOWN を押し、「ホンタイ」または「リョウホウ」にカーソルを合わせ、 MENU を押し

「ホンタイ」は本機のみで操作する場合

「リョウホウ」は本機以外でも操作する場合

運転設定（「メニュー 3 セッテイ 2」画面）

周波数設定

出力周波数を設定します。

※周波数設定の際は、必ず AC 入力プラグを 100V コンセントに接続してください。

日本の電源周波数は、およそ、富士川（静岡県）と糸魚川（新潟県）を境に東側は50Hz、西側が60Hzとなっています。ただし、境界付近には「50Hz」と「60Hz」の混在地区もございますので、ご注意ください。

また、引っ越し先が、東西の境界近くなどでその地域の周波数が不明な場合は、引っ越し先の電力会社へご確認ください。

1 「メニュー 3 セッテイ 2」画面で  または  を押し、「シュウハスウ」にカーソルを合わせる

2  を押す

出力周波数を設定する画面が表示されます。

[セッテイ2 シュウハスウ]
> 50Hz
60Hz

3  または  を押し、

「50Hz」または「60Hz」にカーソルを合わせ、 を押す

出力周波数を設定し、メニュー画面に戻ります。

タイマー設定

タイマー機能を設定します。

1 「メニュー 3 セッテイ 2」画面で ^{UP}○ または ^{DOWN}○ を押し、「タイマー」にカーソルを合わせる

2 ^{MENU}○ を押す

タイマー機能のオン / オフを設定する画面が表示されます。

[セッテイ2 タイマー 1/3]
>OFF
ON

3 ^{UP}○ または ^{DOWN}○ を押して、「ON」または「OFF」にカーソルを合わせる

「ON」：タイマー機能を使います。

「OFF」：タイマー機能を使いません。

4 ^{MENU}○ を押す

「ON」：充電時間を設定する画面が表示されます。操作5に進んでください。

「OFF」：タイマー機能を使わない設定にし、メニュー画面に戻ります。

5 ^{UP}○ または ^{DOWN}○ を押して、
充電開始時刻と充電終了時刻を設定する

• 常時満充電にするため、8時間の充電時間を推奨します。

[セッテイ2 タイマー 2/3]
ジ ュウテン
カイシ : **ジ°
シュウリョウ : **ジ°

6 ^{MENU}○ を押す

放電時間を設定する画面が表示されます。

[セッテイ2 タイマー 3/3]
ホウテン
カイシ : **ジ°
シュウリョウ : **ジ°

7 ^{UP}○ または ^{DOWN}○ を押して、
放電開始時刻と放電終了時刻を設定し、^{MENU}○ を押す

メニュー画面に戻ります。

放電と充電の設定時間が重なっている場合、エラーメッセージが表示されます。

^{RETURN}○ を押して時刻を設定する画面に戻り、時間を修正してください。

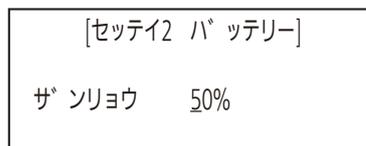
常時蓄電池残量設定

バッテリーの残量を設定します。

1 「メニュー 3 セッテイ 2」画面で  または  を押し、「バッテリー」にカーソルを合わせる

2  を押す

バッテリーの残量を設定する画面が表示されます。



3  または  を押して、バッテリー残量を設定する

4  を押す

バッテリー残量を設定し、メニュー画面に戻ります。

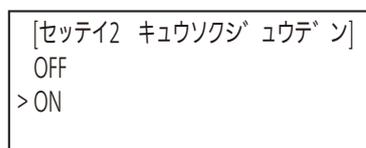
急速充電設定

急速充電機能を設定します。

1 「メニュー 3 セッテイ 2」画面で  または  を押し、「キュウソクジュウデン」にカーソルを合わせる

2  を押す

急速充電機能を設定する画面が表示されます。



3  または  を押して、「ON」または「OFF」にカーソルを合わせる

「ON」：急速充電機能を使います。

「OFF」：急速充電機能を使いません。

※ 急速充電に関して  8 ページ

4  を押す

急速充電機能を設定し、メニュー画面に戻ります。

停電時以外の画面の説明

バイパス出力中の画面

AC100Vから
出力しています。

通常時

```
01/01 Sat 00:00
AC IN : 50Hz      | BATT
AC OUT : ■_____ | 100%
ステータス : ACバスイバス
```

設定残量以下の場合は充電も行います。
(出力容量により充電量は変化します)

放電中の画面

蓄電池から放電 (出力)
しています。

通常時

```
01/01 Sat 00:00
AC IN : --Hz      BATT
AC OUT : ■■■■■■ ← 100%
ステータス : BATTホウテン
```

タイマー設定時

```
01/01 Sat 00:00 T
AC IN : 50Hz      BATT
AC OUT : ■_____ ← 100%
ステータス : BATTホウテン
```

充電中の画面

蓄電池に充電しています。
(POWERスイッチOFF
状態)

通常時

```
01/01 Sat 00:00
AC IN : 50Hz     → BATT
AC OUT : _____ 20%
ステータス : シュウテンチュウ
```

停止中の画面

放電も充電もしていません。
(POWERスイッチOFF
状態)

通常時

```
01/01 Sat 00:00
AC IN : __Hz     | BATT
AC OUT : _____ | 100%
ステータス : テイシチュウ
```

バイパス出力中はバイパス出力が優先されます。
充電される目安は「出力電力と充電に関して」(☞ 8 ページ) を参照してください。

その他

故障かな?と思ったら	30
エラーコードの種類と対応	31
警報メッセージの種類と対応	33
よくあるご質問	34
蓄電池の寿命	35
製品の廃棄について	35
補助金申請について	35
保証とアフターサービス	35
仕様	36

故障かな？と思ったら

故障かなと思われた時は下記項目をご確認ください。

それでも異常がある場合は、直ちに使用を中止し、必ず本機の電源スイッチを切り、本機背面のブレーカーを切り、当社コールセンターにご相談ください。

主な症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
POWER ボタンを押しても出力されない	出力ブレーカーがOFFになっている	前面ブレーカーをONにする	 11ページ
LCD 表示が暗くなる	1分以上ボタンに触れていない	ボタンに触れる	 11ページ
停電のない状態で停電を検知する	AC 入力プラグがコンセントから抜けている、または抜けかかっている	AC 入力プラグをコンセントの奥まで挿入する	 9ページ
本機が放電を自動停止する	蓄電池残量が少ない	常時蓄電池残量まで充電する	 17ページ
本機から放電ができない	蓄電池の容量が常時蓄電池残量以下になっている	常時蓄電池残量まで充電する	 17ページ
放電時間に設定しているのに、放電しない	蓄電池の容量が常時蓄電池残量以下になっている	常時蓄電池残量まで充電する	 17ページ
	時計の時刻が間違っていて設定されている	時計の時刻を正しく設定する	 22ページ
	タイマーがOFFになっている	タイマー設定を確認する	 21ページ
充電時間に設定しているのに、充電しない	蓄電池が満充電状態になっている	異常ではありません。満充電が解消されると自動で充電します	 28ページ
	時計の時刻が間違っていて設定されている	時計の時刻を正しく設定する	 22ページ
	タイマーがOFFになっている	タイマー設定を確認する	 21ページ
	接続している機器の消費電力が1000VAを超えている	出力コンセントに接続している使用機器を外す	 8ページ
AC100V 入力コンセントから充電できない	停電している	復旧後に充電する（常時蓄電池残量までは自動で充電します）	 17ページ
	AC 入力プラグがコンセントから抜けている、または抜けかかっている	AC 入力プラグをコンセントの奥まで挿入する	 9ページ
蓄電システムから音がする	ファンの動作音	異常音ではありません	 11ページ

エラーコードの種類と対応

エラーが発生すると、画面にエラーの種類と原因を示すコードが表示されます。エラーコードやメッセージをご確認いただき、下記に従って、ご対応ください。

下記対応後、しばらくしても同じエラーコードが表示される場合は当社コールセンターにお問い合わせください。

エラー
POWERホ[®] タンヲオシテクダ[®] サイ
-

コード	エラー内容	対策
A1-01	過電圧	出力コンセントに接続の負荷を確認後、POWER ボタンを押して再度出力してください。
A1-02	過電圧	
A2-01	減電圧	
A3-01	内部エラー	
A3-02	内部エラー	
A4-01	過充電	AC 入力プラグを外した後、POWER ボタンを押して再度出力ししばらく放電（出力）させてください。その後、いったん背面ブレーカーを OFF し、入力コンセントを接続し出力してください。
A7-01	充電電流エラー	背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください。
A8-01		
A9-01	充電電流エラー	背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください。
AA-01	通信エラー	背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください。
B3-01	転倒検知	本機を転倒させた場合は、使用を中止し当社コールセンターへ連絡してください（本機を転倒させてない場合は背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください）。
E3-01	過電流	出力コンセントに接続の負荷を確認後、POWER ボタンを押して再度出力してください。
E3-02	過電流	
E3-03	過電流	
E4-01	過電圧	
E4-02	過電圧	
E5-01	減電圧	
E9-01	過電流	出力コンセントに接続の負荷を確認後、POWER ボタンを押して再度出力してください。
A9-02	内部エラー	背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください。
C2-03	通信エラー	

故障かな?と思ったら (つづき)

サイキト[®] ウシテクダ[®] サイ
~

コード	エラー内容	対策
BA-01	通信エラー	背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください。
C1-01	内部エラー	背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください。

フ[®] レーカOFFニシテ
30ヒ[®] ヨウゴ[®] ONシテクダ[®] サイ
~

コード	エラー内容	対策
C3-01	電源 OFF エラー	背面ブレーカーをいったん OFF し、電源を入れなおしてください。

サポートウケテクダ[®] サイ
~

コード	エラー内容
A6-01	過放電
B1-01	ファンエラー
B1-02	
B5-01	内部温度エラー
B5-02	
B5-03	
B6-01	
B6-02	
B6-04	蓄電池寿命
B6-05	
C2-06	
F1-01	通信エラー
F2-01	
F4-01	
F5-01	

警報メッセージの種類と対応

モニター画面に警告メッセージが表示された場合、下記に従って、ご対応ください。

モニター画面	状況	対応
バッテリー警告 ACアダプタの接続を確認してください	■バッテリー残量注意 ACを確認してください バッテリーの残量が低下している。	AC入力プラグを確認してください。 停電中の場合は復電するまで背面ブレーカーをOFFしてください。

故障かな?と思ったら (つづき)

よくあるご質問

ご質問	回答
発電機からの充電は可能か?	本機は、系統電源からの充電を前提に設計されております。充電は系統電源のコンセントから行ってください。
室内をキャスターで移動させても床に傷が付くことはないか?	コンクリート以外の床をキャスターで移動させる場合、床の保護をお奨めします。設置時の荷重を分散させるには、キャスターの下に緩衝材を敷く方法があります。緩衝材は付属しておりませんので別途ご購入ください。
VA (ボルトアンペア) と W (ワット) は、どう違うのか?	ともに電力の単位ですが、交流で使用する電気機器には、流れても機器で消費されない電力があります。VA はみかけの電力の単位を表し、W は実際に機器で消費される電力の単位です。 通常は「見かけの電力>実際に消費される電力」となります。
蓄電池の寿命は?	使用条件によりますが、目安として1日1回の充放電の場合の設計寿命は約10年となります。
停電時最大負荷で何時間使用できるか?	本機が満充電された状態で1000VAの機器を接続時、約2時間使用可能です。(蓄電池が初期状態で25℃の場合)
備蓄容量はどのように設定するの?	「常時蓄電池残量設定」(👉 27 ページ) をご参照ください。
使用出来る温度範囲は?	温度は0~40℃、湿度は20~85%の範囲でご使用ください。また、ほこりや粉塵の多い環境では故障の原因となりますので、使用しないでください。

蓄電池の寿命

内蔵蓄電池の設計寿命は約10年です。
また、満充電しても出力可能時間が著しく短く（初期の約6割以下）なった場合は寿命となります。
（蓄電池の寿命は設置・使用などの状態により大きく変化します）

製品の廃棄について

この製品にはリチウムイオン電池が内蔵されております。
一般ごみとして廃棄できません。
製品の廃棄に関しては、コールセンターにお問い合わせください。
フリーダイヤル  0120-885-394
営業時間：9:00～18:00
携帯電話・PHSからもご利用になれます。
日、祝日、年末年始を除く。

補助金申請について

蓄電システムの購入にあたり、一般社団法人環境共創イニシアチブ実施の定置用リチウムイオン蓄電池導入支援事業費補助金の支給を受けた場合、所有者（購入者）は、当該蓄電システムを法定耐用年数（6年間）の間、適正な管理・運用を図る必要があります。

保証とアフターサービス

保証期間中は、保証書の規定に従って修理致します。
保証期間については、保証書をご確認ください。

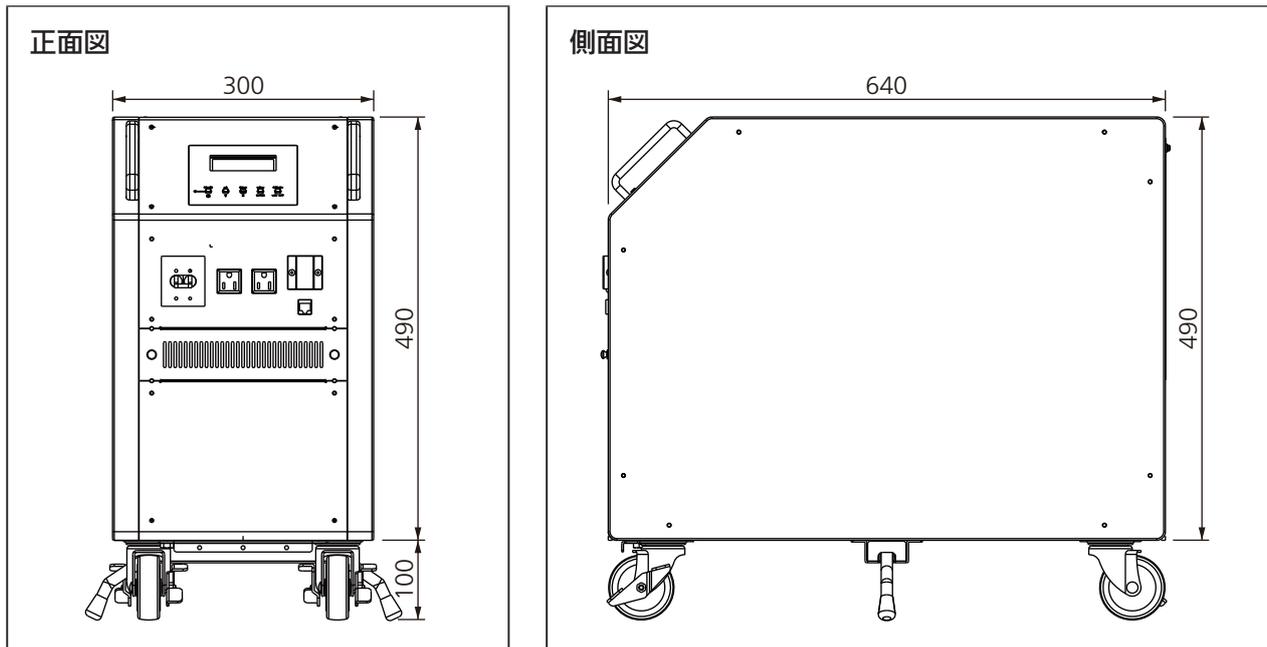
但し、有償で延長保証契約をされたお客様の場合、その契約に基づき保証期間が設定されます。
保証期間終了後はご要望により有償で修理させていただきます。

有償無償に関わらず、使用開始から法定耐用年数である6年間は修理対応をさせていただきます。

仕様

■外形寸法

単位：mm



名称		ポータブル蓄電システム
品番		ESC- B -S25B-LB
交流入出力	相数	単相 2 線式
	定格電圧	AC100V
	定格周波数	50Hz/60Hz
	最大入力	1500VA ^{※1}
	最大出力	1100VA ^{※3}
入力方式		接地極付プラグ
出力方式		接地極付コンセント
内蔵蓄電池		リチウムイオン蓄電池
蓄電容量		2.5kWh
充電時間		約 6 時間 (満充電まで) ^{※2}
待機電力		20W 以下 (POWER OFF、背面ブレーカー ON 時)
ピークシフト機能		あり (内蔵タイマーによる)
使用場所		屋内設置
動作温度範囲		0℃～40℃ (ただし結露無きこと)
動作湿度範囲		20%～85% (ただし結露無きこと)
外形寸法		W300mm × D640mm × H490mm ※最大突起部除く
質量		約 70kg

※1 1100VA 使用時は充電されません。

※2 出力使用条件、急速充電有無により変動します。

※3 出力は完全な正弦波になっておりませんので、必要な場合はご注意ください。



製造：田淵電機株式会社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3丁目4番30号
ニッセイ新大阪ビル

コールセンター

フリーダイヤル ☎ 0120-885-394

営業時間：9:00～18:00

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

日、祝日、年末年始を除く。